

2022 年度 第 3 回 10 月阪大本番レベル模試地理 採点基準

**1 単答記述問題**

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

**2 論述問題**

① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。

② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

**3 共通減点基準**

① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。

② 下線の付け忘れは 1 点減点。

③ 指定用語不使用は 1 点減点。

④ 字数オーバーは 1 点減点。

\*減点しなくていい要素，その他の注意

① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。

② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。

③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

④ 文章が未完のものも減点しない。

**4 採点記号について**

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

## 5 設問別加点基準

- 1)           部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。
- 5) [指定語句] は、文中のどこかで使用していれば減点しない。

### (I) 配点 50点

#### 問1 15点

砂漠気候区に近い地域は灌漑の可能な地域以外は農耕に向かず、また、草原の草の量も少ないため、草と水を求めて家畜と移動する遊牧が営まれる。一方、温帯や冷帯に近い地域は草原の草の密度が高いため乾季に大量の枯れ草が発生し、その腐植が蓄積された肥沃な黒土が分布する。そのため、小麦栽培などが盛んな穀倉地帯となっている。

#### 【加点ポイント】

##### i) 砂漠気候区に近い地域について (7点)

- ① (植生) 草原／短草草原 →1点
- ② (①の特徴) 草の量が少ない／草の密度が低い →2点
- ③ (農牧業)・農耕に向かない／灌漑農業が行われる  
／外来河川や地下水の得られる地域で農耕が行われる →2点  
・遊牧が行われる →2点 (※「放牧／牧畜」のみ →1点)

##### ii) 温帯や冷帯に近い地域について (8点)

- ① (植生) 草原／短草草原 →1点
- ② (①の特徴) 草の密度が高い／草の量が多い →2点
- ③ (土壌) 肥沃である／肥沃な黒土が分布 →1点
- ④ (③の理由) 乾季に大量の枯れ草が発生しその腐植が蓄積  
／乾季の枯れ草の腐植が流失しない →2点
- ⑤ (農牧業) 小麦栽培／穀倉地帯／企業的穀物農業 →2点

問2 15点

図1は地下水路の地域ごとの呼称を示したものである。これらは、山麓の湧水帯や河川等の水の豊富な場所から、生活用水やナツメヤシ等の栽培に用いる農業用水を集落付近まで導くために設置されている。水源となる場所と集落の間に多数の縦穴を掘り、それらを結んだ地下の横穴に水を通すことで、貴重な水の蒸発を防いでいる。

【加点ポイント】

i) 設置目的などについて (8点)

- ① (目的) 集落に水を導く／農業用水を導く →2点
- ② (水源) 山麓／湧水帯／河川 →3点
- ④ (地下の理由) 水の蒸発を防ぐ／水が涸れるのを防ぐ →3点

ii) 構造について (7点)

- ① 地下水路である →3点
- ② 多数の縦穴を掘り地下に横穴を通す／施工・修理などのための縦穴が多数掘られる →4点

問3 20点 [指定語句] 内陸湖 排水 2つ全て使用 (※下線不要)

内陸湖の流入河川から農地へ水を導く灌漑が過度なものになると、内陸湖の水位が低下し、面積が縮小する。その場合、漁業や水運業が打撃を受けるほか、干上がった湖底からは塩類や灌漑農地で使用された農薬等が風で飛散し、周辺住民に健康被害が生じることもある。また、灌漑農地からの排水が不十分である場合、地表付近に塩類が集積して農耕の継続が困難になる塩害が生じることがあり、それが地域や文明が衰退する一因と成り得る。

【加点ポイント】

i) 内陸湖周辺の問題について (12点)

- ① 内陸湖の水位低下／内陸湖の縮小／内陸湖の消滅 →3点
  - ② (①の要因) 流入河川からの取水 →3点
  - ③ (①の影響) ・内陸湖の漁業不振  
 ・内陸湖の水運業の不振  
 ・生態系の破壊  
 ・湖底から塩類(化学物質)の飛散  
 ・周辺住民の健康被害／飛散物による塩害
- } 1つ2点  
6点まで

ii) 灌漑農地の問題について (8点)

- ① 塩害／塩分集積／土壌の塩性化 →3点
- ② (①の要因) 灌漑農地の排水が不十分 →3点
- ③ (①の影響) 農耕の継続が困難になる／土地の不毛化／地域や文明の衰退 →2点

(II) 配点 50 点

問1 20 点

1990年までは大都市圏の都心を持つ東京都の昼夜間人口比率が上昇し、郊外の埼玉県、千葉県は低下したが、過密化と地価高騰が進む都心から郊外の新興住宅地へ常住人口が流出し、そこから都心に遠距離通勤する人が増えたためである。その後は東京都の昼夜間人口比率が低下し、埼玉県と千葉県は上昇するが、再開発後に富裕層が流入した都心の常住人口が増え、高齢化した郊外の新興住宅地では、都心への通勤者が減ったためである。

【加点ポイント】

i) 1990年までについて (10点)

- ① 東京都の昼夜間人口比率が上昇した →1点
- ② 埼玉県と千葉県の昼夜間人口比率は低下した →1点
- ③ (①②の背景)

- ・ 東京都の常住人口が郊外（埼玉県や千葉県）に流出した  
／ドーナツ化現象が起こった
- ・ 東京都の居住環境が悪化した（過密化・騒音等）
- ・ 東京都の地価が高騰した
- ・ 郊外（埼玉県や千葉県）の住宅供給が増えた／新興住宅地が整備された
- ・ 郊外（埼玉県や千葉県）から都心へ通勤する人が増えた

1つ2点  
8点まで

ii) 1990年以降について (10点)

- ① 東京都の昼夜間人口比率が低下した →1点
- ② 埼玉県と千葉県の昼夜間人口比率は上昇した →1点
- ③ (①②の背景)

- ・ 都心（東京都）の再開発が進んだ／都心周辺で住宅供給が増えた
- ・ 「バブル経済が崩壊」して「都心（東京都）の地価が下がった」
- ・ 都心に富裕層が流入した／ジェントリフィケーションが進んだ
- ・ 人口の都心回帰が起こった／都心の常住人口が増えた
- ・ 郊外（埼玉県や千葉県）では高齢化により都心への通勤者が減った

1つ2点  
8点まで

問2 15点

レアメタル、金、銀などはハイテク産業に不可欠な資源ながら、流通量が少ない。日本は地下資源としてのこれらには恵まれないが、既に市場に供給されたハイテク製品の中に豊富に含まれ、都市で大量廃棄される製品から取り出して再利用することを考えれば、世界有数の資源保有国とみなせる。ゆえに日本は都市鉱山として注目されている。

【加点ポイント】

i) 「都市鉱山」という概念について (9点)

- ① (対象となる鉱物) レアメタル →3点
- ② (概念) 廃棄されるハイテク製品 (家電・携帯電話など) から①を取り出す  
／市場に供給された製品に含まれるレアメタルを再利用 (リサイクル) する →3点
- ③ (日本について) ②により日本は世界有数の資源保有国とみなされる  
／日本はハイテク産業の発達が早く大量のハイテク製品が廃棄される →3点

ii) 注目の背景について (6点)

- ① 背景について
  - ・レアメタルはハイテク産業に不可欠な資源である →3点
  - ・レアメタルは流通量が少ない／レアメタルは単体で取り出すのが難しい →3点

問3 15点

人口排熱が多く、緑地の少ない都市化地帯は、周囲より気温が高くなるヒートアイランド現象により、局地的大雨を降らす積乱雲が生じやすい。地面が舗装や建物に覆われ、雨水が地中に浸透しにくい都市化地帯で大雨が降ると、河川、側溝、下水道等が速やかに増水して、あふれた水が地下街等に流れ込む都市型水害になりやすい。

【加点ポイント】

i) 都市化地帯の都市気候について (7点)

- ① 局地的大雨 (ゲリラ豪雨) を降らす積乱雲が生じやすい →2点  
(※「局地的大雨が起こりやすい」のみ →1点)
- ② (①の要因) ヒートアイランド現象／都市部のみ周囲より気温が高くなる →3点
- ③ (②の要因) 人口排熱 (排気ガス／エアコンの排熱) が多い／緑地や水場が少ない  
／ビルやコンクリート・舗装面の蓄熱 →2点

ii) 都市化地帯の都市型水害について (8点)

- ① (大雨が降ると) 雨水が地中に浸透しない →2点
  - ② (①の要因) 地面が舗装や建物に覆われている／露出する土が少ない →2点
  - ③ (①の結果) 河川 (側溝／下水道等) が短時間で増水する／排水が追い付かない →2点
  - ④・ (都市型水害の例) 地下街の浸水／地下鉄への浸水／マンホールから水の噴出  
／地下の電気設備への浸水／道路の冠水や自動車の水没  
・ (都市型水害の対策) 透水性アスファルト／調整池の設置  
／浸透ます・貯留槽・浸透貯留施設の設置
- } いずれかで  
2点